

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話 : +81-45-717-8575

中国黒鉛電極市場の近況

(2022年4月)

1. 黒鉛電極

4月に入ってから中国の黒鉛電極価格は安定的に推移している。高炉メーカーの稼働率回復で、超効率黒鉛電極（例えば、UHP450mm、UHP500mm）中小サイズの需要が高まっている。そのため黒鉛電極メーカーの多くは今後の市況について楽観的な見方をしている。

その一方で原料価格・黒鉛化価格の上昇やコロナ感染拡大による輸送の滞りは、黒鉛電極の生産コストと生産量に影響を与えている。

表1 中国の黒鉛電極価格（4月7日現在）

1元 = 19.72円で換算、以下同

規格	価格		前週比 (%)	前月比 (%)
	人民元 (元/トン)	円換算 (万円/トン)		
UHP600	27,796	54.81	0.0	1.8
UHP450	24,493	48.30	0.0	2.1
HP450	22,927	45.21	0.0	2.2

出典 : ICC 整理

2. 黒鉛電極の原料

国際原油価格の高騰で、中国の石油コークスは1トン当たり300~500元（5,916~9,860円）値上がりしている。

表2 中国の石油コークス価格（4月8日現在）

メーカー	規格	価格	
		人民元 (元/トン)	円換算 (万円/トン)
大慶石化	1#A	7,700	15.18
撫順石化	1#A	7,700	15.18
錦西石化	1#B	7,200	14.20
大港石化	1#A	7,600	14.99

出典 : ICC 整理

ニードルコークス価格は比較的安定しているが、石油系メーカーの値上げする意向が強い。4月8日現在、石炭系は1トン当たり11,000~12,500元（21.69~24.65万円）で、石油系は11,500~13,500元（22.68~26.62万円）だった。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話 : +81-45-717-8575

3. 鉄鋼業の黒鉛電極需要

鉄鋼製品は原料価格の上昇で値上がりしているが、需要がコロナ感染拡大や製造業の低迷などに影響されたため、取引量が減少している。

営業損失、鉄スクラップ供給不足などを受けて、生産停止したり点検保守したりしている独立系電気炉メーカーが多い。

それに対して高炉メーカーでは3月下旬の1日当たりの粗鋼生産量が前月比5.41%上昇するなど生産量が回復している。それを受け、直径450～500mmの黒鉛電極の需要が増加しており、鉄鋼業の黒鉛電極消費量が前月比0.26%上昇した。

4. 黒鉛電極市況の見通し

4月後半から、コロナが鉄鋼市場に与える影響が弱まり、原材料の在庫を補充する鉄鋼メーカーが増えると予想されるため、鉄鋼メーカーの黒鉛電極購入量が増加すると見込まれている。

また、ユーラシア経済同盟（Eurasian Economic Union）は3月末に、中国産黒鉛電極に対するアンチダンピング措置の実施を10月1日に見送ると発表した。これは黒鉛電極輸出にとって有利だとみられている。

情報源：ICC 資訊より整理作成。